

### 【展示室でのマナー】

- ・作品にはさわらない。
- ・書くときは、えんぴつで。
- ・走ったり、大声で話したりしない。
- ・携帯電話やカメラは使わない。
- ・ものを食べたり飲んだりしない。

[メモ]

# REVALUE

# NIPPON

### REVALUE NIPPON PROJECT 中田英寿が出会った日本工芸

会期 | 2016年4月9日(土)~6月5日(日)

休館日 | 水曜日(ただし5月4日は除く)

開館時間 | 午前10時より午後6時まで 入館は午後5時30分まで

小学生以下入館無料

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階

お問い合わせ | ハローダイヤル 03-5777-8600 <http://panasonic.co.jp/es/museum>

主催 | パナソニック汐留ミュージアム、東京新聞、TBS 後援 | 港区教育委員会

協力 | 一般財団法人 TAKE ACTION FOUNDATION 会場デザイン | 藤本壮介建築設計事務所  
グラフィックデザイン | 日本デザインセンター 大黒デザイン研究室

#### 「REVALUE NIPPON PROJECT」ジュニア向け鑑賞ガイド

企画・発行 | パナソニック汐留ミュージアム 執筆・編集 | 岩井美恵子(パナソニック汐留ミュージアム)

デザイン | 大黒大悟、佐野真弓(日本デザインセンター) 写真 | たかはしじゅんいち

\*この小冊子は展覧会の解説・紹介用に制作したものです。\*本誌内容の無断転載・複製を禁じます。

Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY  
パナソニック汐留ミュージアム

### 中田英寿が出会った日本工芸

# PROJECT



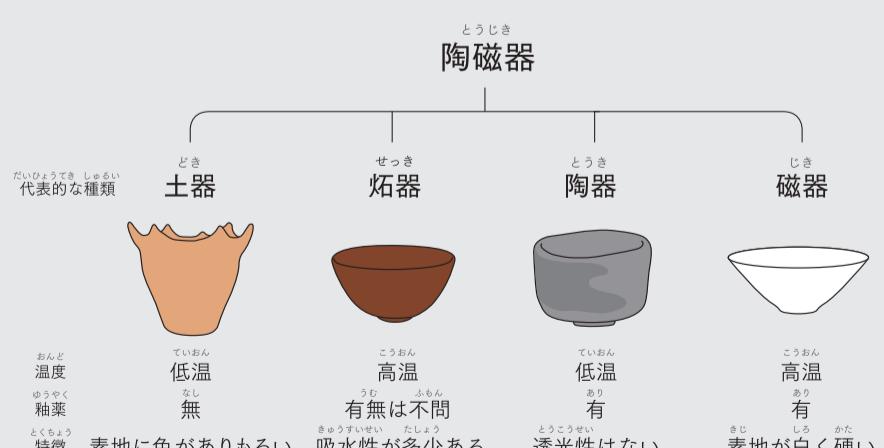
## 中田英寿さんはなぜ 日本中を旅しているの?

元サッカー日本代表の中田英寿さんは現役を引退したあと、世界約90カ国・150の都市の旅を続けてきました。旅の途中で、日本の文化が世界から評価され、価値が高まっていることを感じると同時に、自分は日本について何も知らないのでは?ということに気付いたそうです。そこで日本を知るために、沖縄から北海道まで訪ねることで、各地の文化、伝統、農業、ものづくりに直接触れ、日本には世界に誇れる文化や技術があることを再発見しました。

### ジュニア向け観賞ガイド

## 陶磁器って何?

陶磁器とは、岩石や粘土を素地として窯で焼き、ガラス質の釉薬によって表面を覆い形作るもので、土器、炻器、陶器、磁器の4種を含めたやきものの総称と言えます。日本においては縄文土器や弥生土器から始まり、中国や朝鮮半島の影響を受けながら、それぞれの土地の土や釉薬を生かした窯業地が各地で発達してきました。主な産地は佐賀県有田、岡山県備前、京都、石川県九谷、岐阜県美濃、茨城県笠間、栃木県益子などです。

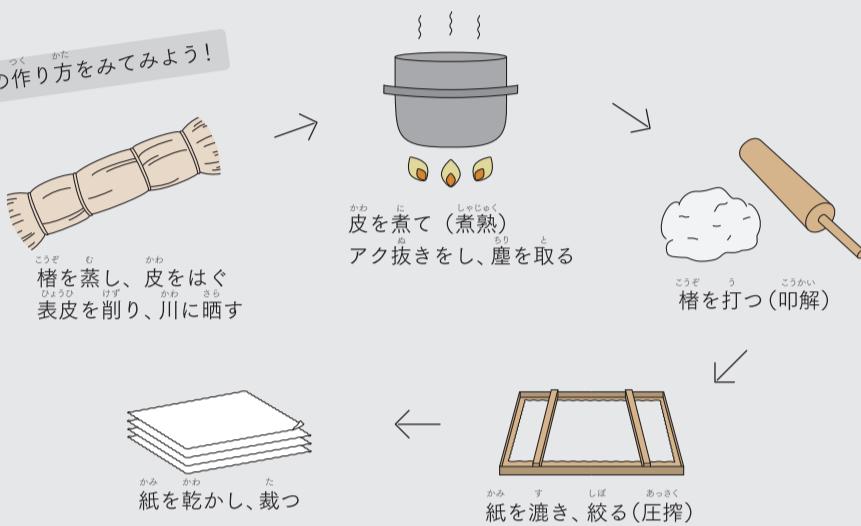


[メモ]

なに  
これは何でできているの?

## 和紙はどうやってつくられるの?

楮や三桠、雁皮といった植物の纖維を煮詰めて漉き、乾燥して製作される和紙。聖徳太子の時代にその製法が伝わり、愛媛県の五十崎、福井県の越前、奈良県の吉野、高知県の土佐、徳島県の阿波など日本各地で生産されるようになっていきました。明治に入ると洋紙が輸入され実用品として流通していきますが、一方で和紙はその風合いや美しさ、耐久性などが見直され、美術の分野など新たな活路を見出しています。



[メモ]

## 型紙って何?

型紙とは小紋や浴衣などの柄や文様を着物の生地に染めたりするために用いるものです。なかでも室町時代には存在していたといわれる伊勢型紙は、江戸時代になると徳川御三家である紀州藩の保護を受けるようになり急激な発展を遂げました。またこの時代に広まった小紋を染めるために用いられたことも、その隆盛の一端となりました。和紙を加工した型地紙に、彫刻刀で文様や図柄を丹念に彫りぬいたものですが、型紙を作るには高度な技術と根気と忍耐が必要です。

伊勢型紙の技法をみてみよう!



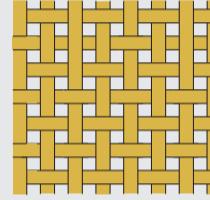
030《Silver balloon》の作品の彫り方はどれかな?

竹はインドより東のアジア地域とアフリカに多く生育している植物です。そして竹工芸は工芸美術の伝統がある東アジアを中心に行ってきたといえるでしょう。最も一般的な真竹、大きく肉厚な孟宗竹、煙によって燻された煤竹など、様々な種類の竹を用いて、切ったり編んだりして成形します。日本では古くより籠などの民具や尺八などの楽器が製作されており、茶の湯の隆盛以降は竹の素材感が侘茶の精神に合い、茶杓、茶筅、蓋置、花入など茶道具として多く用いられるようになりました。明治以降はこういった道具だけでなく、工芸作品として作家たちが公募展や個展への出品を続けています。しなやかで弾力性があり、折れにくい性質があるので、その特徴を活かして生活の道具が多く作されました。

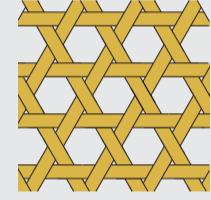


竹の編み方をみてみよう!

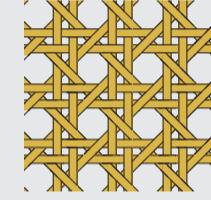
四ツ目編



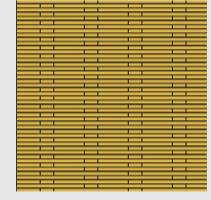
六ツ目編



八ツ目編



ござ目編

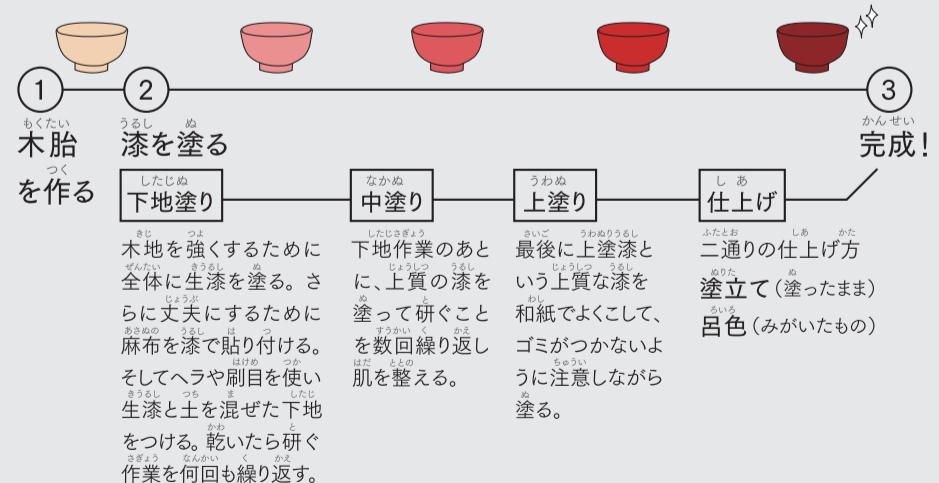


024《Trans-Ren(Bamboo)[core/surface]》の作品の編み方はどれかな?

漆芸作品は、漆の木の樹液を木や竹、麻布などの表面に塗ったり、樹液で模様を描いたりして作られます。漆製の椀や盆など、古くは縄文時代から私たちの身の回りの道具として使用されてきました。漆には塗料としての、そして接着剤としての機能があり、この特徴を活かして、漆芸作品は漆で文様を描き金粉などを蒔く蒔絵や、夜光貝などの貝殻を実際に切って貼り付ける螺鈿、漆面に刃物で模様を彫りその溝に金粉を擦り込む沈金など、様々な技法によって飾られています。

## 漆って何?

漆芸作品(木)の作り方をみてみよう!



[メモ]